

ウーリーモンキー、17 年ぶりの繁殖について

高橋 亨祐

ハイイロウーリーモンキー (*Lagothrix cana*) は絶滅の危険が増大している種で、我が国の動物園で飼育している園館は少なく、繁殖に取り組んでいかなければならない。この度は当園で 17 年ぶりにハイイロウーリーモンキーの繁殖に成功したため、その取り組みについて報告する。当園では 2006 年の繁殖の後に繁殖を制限し、2009 年から同居を再開するも妊娠に至らなかった経緯がある。そこで、2020 年に日本モンキーセンターから雌の新規個体が来園し、2022 年には横浜市立繁殖センターと協同で性ホルモンの測定をはじめた。その結果、2022 年 9 月に新規の雌個体が交尾し、性ホルモンより妊娠が確認された。そして、2023 年 5 月 3 日に出産し自然哺育となった。その 2 週間後には展示をはじめ、7 月終わりから他個体と同居を行ってきた。現在は展示場の工事よりサブ運動場で同居を続け、仔は少しずつ親離れをしている。今回の繁殖が上手くいった理由として、オスとメスの相性やメスに繁殖経験があったこと、性ホルモンによる妊娠確定があげられる。今後は仔の成長を見守り、さらなる繁殖に向けて取り組んでいく。